



2025年11月7日

各 位

会 社 名 SOLIZE Holdings株式会社  
代表者名 代表取締役社長CEO 宮藤 康聰  
(コード: 5871、スタンダード市場)  
問合せ先責任者 取締役 木下 和重  
(TEL. 03-5214-1919)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025年2月14日に公表した2025年12月期通期の業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 1. 2025年12月期通期（2025年1月1日～2025年12月31日）業績予想数値の修正

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 27,000	百万円 500	百万円 500	百万円 350	円 銭 66.63
今回修正予想（B）	26,200	50	50	5	0.94
増減額（B-A）	△800	△450	△450	△345	—
増減率（%）	△3.0	△90.0	△90.0	△98.6	—
（ご参考）前期実績（2024年12月期）	22,713	455	416	254	50.16

#### 2. 通期業績予想値修正の理由

2025年2月14日に開示しました2025年12月期通期連結業績予想について、足元の受注状況の悪化、及び、当第3四半期連結会計期間の業績の結果を踏まえ、当初前提していた当第3四半期以降における収益拡大について減少方向の見直しを行う必要があると判断し、コスト削減施策効果の見積りも織り込み、上記のとおり修正することといたしました。

当第3四半期以降における収益の見通しについて、設計開発・解析に係る受託サービス、変革コンサルティングサービス、ソフトウェア開発サービス、及び試作品・3Dプリンターの販売の分野における売上高は、前年同期と比べて引き続き増加することを見込んでおりますが、当初に開示しました通期連結業績予想の水準には至らない見通しとなりました。

上記、当社受注環境変化の背景として、米国関税政策の影響等が自動車業界等において先行きの見通しに不透明感をもたらし、足元の経費を抑制する傾向につながったことが要因の一つであると考えております。しかしながら、日米の関税交渉に方向性が示されたことから、現時点では当第4四半期以降、一定程度当社の受注状況も改善する可能性があると判断し、収益確保に向けた活動強化を推進して参ります。

以上の結果、2025年2月14日に公表しました2025年12月期通期の連結業績予想における、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ修正いたします。

なお、配当に関しては、前事業年度末の連結純資産の2.5%程度を目安とする方針を維持し、

2025年12月期末の配当予想（55.00円）に変更はありません。

以上

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。